

静脩

SEI-SHU

特集

語学学習のための図書館活用術

CONTENTS

- 02 : 語学学習のための図書館活用術
- 07 : 一冊の本 “A Brief History of Time”
- 08 : 京都大学図書館統計
- 12 : 図書館・室からのお知らせ

語学学習のための図書館活用術

「語学学習のための図書館活用術」として、学内図書館・室のユニークな資料やコーナー、電子リソース、そして関連施設を紹介します。また、国際高等教育院の伊藤先生からは、外国語を学ぶ意義と効果的な学習方法についてご寄稿いただきました。図書館がみなさんにとって、世界への入口になれば幸いです。

「英語学習コーナー」をとおして理解しよう世界のこと、 考えてみよう自分自身のこと

国際高等教育院准教授 伊藤 佳世子

「英語を一生懸命に学習したのは大学受験のためでした。」という声をよく聞きます。確かにその発言は数ある大切な英語学習の目的のひとつです。しかしそれを自らの英語学習の意義と捉えている人も数多くいることは否めません。そのため大学入学後は英語からやっと解放されたと思っていたのに、どうして外国語専攻の学部でもないのに英語学習が必要なのかと感じている人もいます。英語のみならず外国語を学ぶ意義は、たんに英語の四技能（Reading, Listening, Writing, Speaking）を習得することではありません。それはあくまでも手段なのです。外国語学習の意義はこれらの四技能を有機的に運用し、他国の文化や民族の歴史、様々な習慣を知るだけでなく理解すること、さらにその行為を通して自国と諸外国との関係を考え、自らを顧みて自らの意見を持つ事にあります。

しかしそのためにも英語を効果的に学習していくことが重要であるのは言うまでもありません。現在は英語での講義、リスニング訓練としてスマホやタブレットからいつでもどこでもユビキタスに自主学習できる画期的な shadowing システムや発音矯正システム、また TOEIC 夏季集中講義などが大学で導入されています。それらはすべて皆さんが少し手を伸ばせばすぐに手元に引き寄せられる利便性の高いものです。さらに学内には様々な国の教授陣や留学生と話せる機会も多くあります。

英語のスキルアップのため、またそれ以上に自らの考えを持つために欠かせない存在が吉田南総合図書館の「英語学習コーナー」です。同コーナーに並ぶ作品を読み、それらが執筆された当時の社会情勢はどうであったのか、また男女差別、民族

差別、階級差別等の事実を知り、当時の人々が何を考えていたのかを理解し、自分であればどうしていただろうと自らに問いかけるきっかけ作りになることは必須です。

ただ何から始めればよいか迷っているのであればまず Oxford University Press は最適です。館内には Very Short Introduction のシリーズが 395 冊あり、分野も様々に採り上げているので、リーディング講義にもよく使用され、難解なテーマをわかり易く解説する入門書としては人気があります。

次に Oxford World Classics シリーズは 493 冊もの蔵書数を有しています。このシリーズは Oxford 大学出版局から 100 年以上にわたり提供されており、神話から 20 世紀までの文芸作品を扱っています。作品の内容によっては原典に解題や、用語集なども付いています。

古典的な良書を出版する Oxford に比肩する Pearson 社の Penguin Classics シリーズは 745 冊もあります。また作品よりも自分がどのレベルを読めるかを知りたい人には Penguin Readers シリーズ（178 冊）がおすすめです。同シリーズは easy start からレベル 6 までの段階別で音声 CD がついた作品も多くあります。

なかなか最初の一步は面倒で踏み出せないかもしれませんが、読み終えた達成感や読み進めるうちにある時ふと語彙レベルが上がっていることに気づき、読書を通して自分の意見を持ち、真のグローバル化に近づいていることに気づくはずです。

書棚から数歩離れて、俯瞰的にタイトルを見て気になる作品があれば、まず手に取ってみるから始めましょう。

吉田南総合図書館

平成 27 年 4 月、吉田南総合図書館では英語多読・速読のための図書、約 2,600 冊を集めた「英語学習コーナー」を 2 階北側に開設しました。学生みなさんの英語学習に役立てていただくため、教養・共通教育に対応する図書館である当館に整備されたものです。レベル分けされた多読シリーズはもちろん、古典作品、児童文学等、幅広いジャンルの英語図書が並んでいます。まずは一冊、手に取って挑戦してみてください。



多読用シリーズには朗読 CD 付きのものもたくさんあり、発音の確認にも役立ちます。CD も貸出できますので、ぜひ活用してください。また電子書籍でも多読シリーズや児童書、一般的な読物など約 1000 タイトルをご用意していますので、どうぞご利用ください。

当館のウェブサイトでは、英語学習コーナーに関するページを用意しており、タイトルリストや、多読の進め方についての教員からのコメントもご覧いただけます。ぜひアクセスしてみてください。

みなさんのご利用をお待ちしています。

吉田南総合図書館ウェブサイト>サービス>英語学習
<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/yoshidasouthlib/service/tadoku.html>

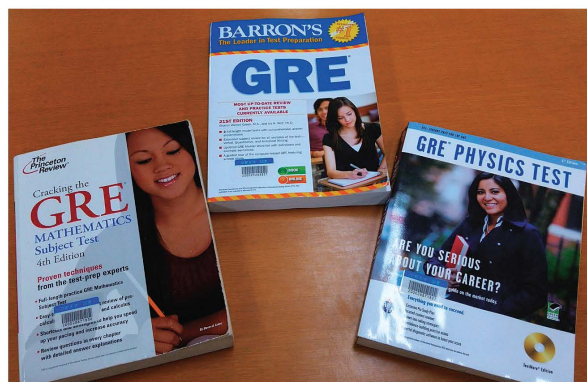


理学部中央図書室

理学に特化した図書室に語学関連図書があるとは、みなさんご存知ないかもしれません。確かに冊数は 16 冊ほど、全体で約 20cm 程と細々とした状況。ですが時期により書架に戻る暇もないほど忙しい本もあり、「少ないながら頑張ってるな」という印象です。大学グローバル化の方針もそれに拍車をかけている状況で、他の圧倒的多数の専門図書と肩をならべる存在感を示しています。

ところで「GRE (ジーアールイー)」って何かおわかりですか？英語の試験といえばまず「TOEFL iBT」などが代表的ですが、「GRE」はアメリカやカナダの大学院に進学する際に必要な共通試験のこと。一般試験と専門試験とがあり、

自然科学系は専門試験も必須なのです。そのためか「GRE」本は理学以外の留学生からの予約も多い人気者。ぜひ一度図書室へお越しいただき、その「ひっそり」さを実感なさって、そのあとはどうぞ貸出を！ご利用をお待ちしております。



文学研究科図書館

文学部校舎地下一階、図書館に入って右手側に、英語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・中国語・韓国語・ロシア語そして現代ギリシャ語に関する図書が並ぶ書架があります。これは、文学研究科の「外国語支援プロジェクト(*)」の一環として揃えられた外国語参考図書です。選定したのは海外の大学院で学位を取得した経験のあるプロジェクトメンバーで、その内容も検定対策本からレポートの書き方、研究のための参考書と多岐にわたります。さらに、書架には同プロジェクトメンバーによる「外国語参考図書ガイド」が備え付けてありますので、各参考書の概要、対象者、効果的な使用法についての解説を読みながら、じっくり選ぶこともできます。

これらの図書は、当初は館内閲覧のみとなっていました。利用者の方からの要望に応え、現在は一部の図書が貸出可能となり、より利用しやす

くなりました。まずは一度、文学研究科図書館にお越しください。



* 文学研究科「外国語支援プロジェクト」

http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/gaikokugo/gkp-top_page/

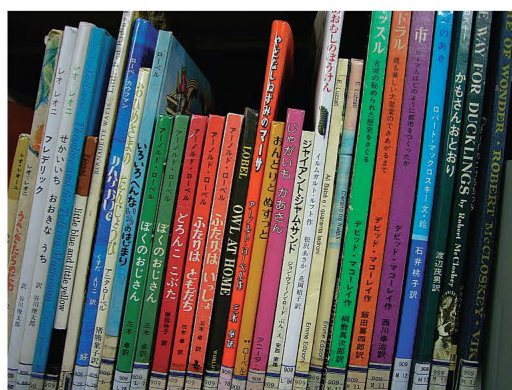


教育学部図書室

教育学部図書室はたくさんの絵本を所蔵しており、その中には英語で書かれたものもあります。子どもの頃に読んだかもしれない "In the night kitchen" (まよなかのだいどころ) "Where the wild things are" (かいじゅうたちのいるところ) [ともに請求記号:909||Se5] "Make way for ducklings" (かもさんおとおり) [909||M13] などは、日本語版と対比させながら翻訳のニュアンスを味わうことができます。また、少し長いものなら "Mother Goose : nursery rhymes" [909.1||W64] や

"Cinderella" [909||Ev1] などはいかがでしょうか。勉強や研究の合間の息抜きにもどうぞ。京都大学に在籍されている方は、学生証(身分証)の提示で入室・借用していただけます。

児童文学に興味のある方には、著作権切れの文学作品を電子化、無料公開しているサイト Project Gutenberg (https://www.gutenberg.org/wiki/Main_Page) がおすすめです。英語以外の言語も含む 4 万件以上ものタイトルは、KULINE から検索が可能です。



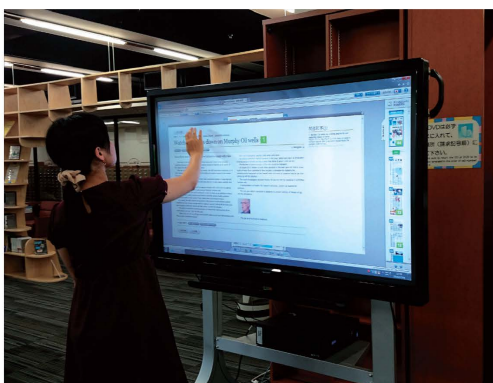
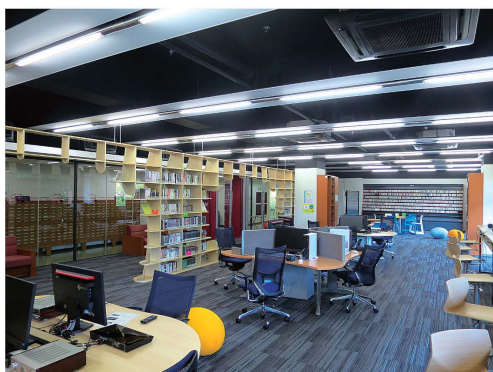
附属図書館

附属図書館3階のメディア・コモンズ(*)は、平成27年4月にリニューアル・オープンしました。その一角に「IELTS・TOEFL スコアアップ図書コーナー」があります。これは、ジョン万プログラム学生派遣支援制度の一環として、6月から新たに設置されたものです。約100冊のIELTSやTOEFLの対策本が揃っており、館内で自由に利用できます。英語力の向上や試験のスコアアップに、どうぞご活用ください。

また、メディア・コモンズには、1000タイトルを超える映画やドキュメンタリーなどのDVDが

備えられており、これらを個人やグループで視聴できます。海外作品が多数ありますので、語学学習教材としてもご覧いただけるものです。さらに、BBCなどの動画配信サービスにアクセスできるパソコン、“Library Press Display”を大画面で見られるBIG PADなどもあります。語学学習の場としても、新しくなったメディア・コモンズをぜひ利用してみてください。

* http://www3.kulib.kyoto-u.ac.jp/guide/jpn/guide_jpn_mediacommons.html



“Library Press Display / Pressreader.com”

世界約100カ国、3000紙以上の新聞を、紙面と同じレイアウトで閲覧できるデータベースです。発行日即日にアップロードされ、最大90日まで遡って閲覧できます。新聞をそのまま読むだけでなく、キーワード検索、翻訳や音声読み上げ機能も付いて、外国語学習にも役立つこと間違いなしです！是非ご活用ください。



<http://library.pressdisplay.com/>



留学生ラウンジ「きずな」

留学生の相互交流の促進と、留学生と日本人学生および教職員との交流のためのスペースです。館内には自主学習や語学交換のできるサロンやオーディオルームなどがあります。

リーディングルームには、留学生のための日本語学習教材、日本人学生のための海外留学資料、新聞や雑誌、フリーペーパーなども揃っています。みなさんも一度足を運んでみられてはいかがでしょうか？

開館時間：平日（祝日を除く）：9：00～17：00



CALL 自律学習コーナー

CALLとは、Computer-Assisted Language Learningの略で、コンピュータを用いた外国語学習を指しています。学術情報メディアセンター北館2階・南館1階や附属図書館3階、吉田南総合図書館2階、桂キャンパス船井交流センター3階に設けられているオープンスペースラボラトリー（OSL）内の全てのPC端末には英語、フランス語、ドイツ語、中国語の外国語学習用の教材がインストールされていて、自律学習（自学自習）できるようになっています。OSL 開館中はいつでも自由に外国語を学ぶことができますので、個々のペースで外国語学習を進めたい方におすすめです。なお、CALL 利用の際はヘッドフォンをご持参ください。

OSL 利用状況

<http://www.ecs.kyoto-u.ac.jp/oslinfo/>



OSL 利用時間

- ・学術情報メディアセンター南館 OSL
月～金曜日：10：00～20：00
土曜日：10：00～18：00（日祝日閉館）
- ・学術情報メディアセンター北館 OSL
月～金曜日：10：00～17：00（土日祝日閉館）
- ・附属図書館3階 情報端末コーナー
月～金曜日：8：00～21：30
土日祝日：10：00～18：30
- ・吉田南総合図書館2階 閲覧室
月～金曜日：9：00～19：30
土曜日：10：00～14：30（日祝日閉館）
- ・桂キャンパスBクラスタ 船井交流センター3階 OSL
月～金曜日：10：30～17：00（土日祝日閉館）

ここまで紹介したほかにも、京都大学の図書館・室では語学学習に活用できる資料を所蔵しています。例えば、KULINE から“TOEFL”と検索して、画面左側の「絞り込み検索」で絞り込むと、それぞれの図書館・室が所蔵している関連図書を見つけることができます。

また、前のページで紹介した“Library Press Display”のほかにも、海外の新聞記事を見ることができるデータベースや英語の多読学習に活用で

きる電子ブックなど、多数の電子リソースへ図書館機構のウェブページからアクセスすることができます。

今回の特集では主に英語学習に活用できる資料を取り上げていますが、京都大学の図書館・室では、それぞれの学問分野に沿って収集された多様な言語の資料を所蔵しています。皆さんの関心に応じてご活用ください。

ルチラ パリハワダナ（国際交流センター教授）

光 陰矢のごとく進んでいく時間。人間を取り巻く世界における様々な出来事を順序付け、把握可能にしてくれる時間。たそがれの物悲しさやウグイスの囀り、風や光から感じられる時間。その感じ方も人それぞれで、同じ人でも体調や気分などと共にこの生理的時間・私的な時間の捉え方が絶えず変化する。人の存在と切っても切れない関係にありながら、つかみどころのない無色透明なこの時間とは果たして何か。誰もが考えたことのあるテーマである。スティーヴン・ホーキングの *A Brief History of Time* はアリストテレス、カント、ニュートン、アインシュタインに代表される哲学者・科学者がそれぞれの見地から追求してきた時間の謎解きの歴史を宇宙物理学的な観点から分かりやすく解説した一冊である。

言語の時間は隙間のない線上のものとして、そして過去から未来へと流れる方向性を有したものと定義される。線上の時間軸は、経験済みの過去から未知の未来へと流れるものとして一般的に捉えられている。しかし、個別言語や個別表現の単位で見ると、未来から過去へと流れる時間の描写や上から下へと垂直に流れる時間の描写も存在する。言語を研究する筆者にとり、言語における時間の仕組みは大変魅力的なテーマである。ホーキングは時間の矢を熱力学的、心理学的、宇宙論的なものとして提示しながら、後者の方向性が宇宙の膨張の進展方向と一致していることを示している。

言語においてそうであるのと同様に宇宙論における時間も空間と密接に関わっている。時間の測定・把握は何らかの空間的位置においてなされなければならないことがその証である。一方、言語と異なり、宇宙論における時間の見方は光によって大きく左右される。アインシュタインの相対論に従えば、いかなるものも光速を超えることができない上、時間もその例外ではないからである。宇宙の膨張、太陽の自転、地球の公転の中で、反射される光を受け、物事を観察する観察者の位置は相対的なものでしかない。故に、同一の出来事を観察する位置も時間も観察者により異なることになる。このように時間は一様に流れるものでありながら、観察者により異なる相対的なものであるということになる。ホーキングは更に、ビッグバンやビッグクランチ、ブラックホールに対する考察を通して時間の始まりと終わりの謎解きに挑む。

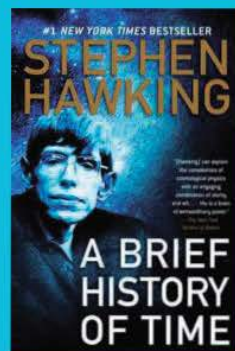
世界的ベストセラーとなった本書は、「世界」を捉える我々の視点とはいかなるものかを考えさせ、現代科学が可能にする最大のスケールの視点を読者に示してくれる一冊であり、時間とは？人間とは？という問いを考える一つの切り口として何度も読み直したい一冊である。

—図書の情報—

“A Brief History of Time”
Stephen Hawking.
Bantam Books, 1998.

—所蔵図書館・室—

附属図書館
2階 開架 MB||31||H3



（日本語訳）
「ホーキング、宇宙を語る：
ビッグバンからブラック
ホールまで」
S.W. ホーキング著；
林一訳・早川書房、1989.

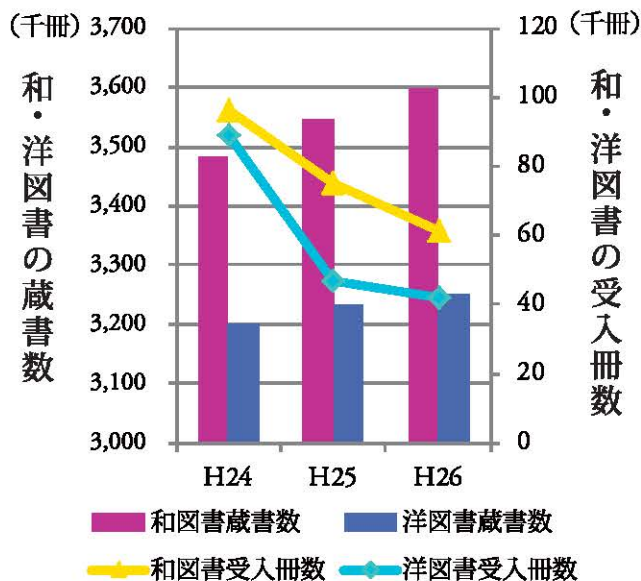
—所蔵図書館・室—

附属図書館
B1M 書庫 MB||31||ホ2

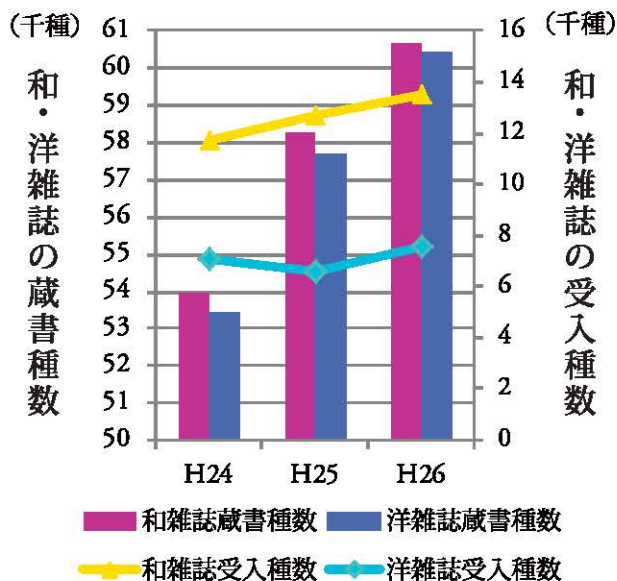
吉田南総合図書館
B2 書庫 440||H||1
ほか

京都大学図書館統計

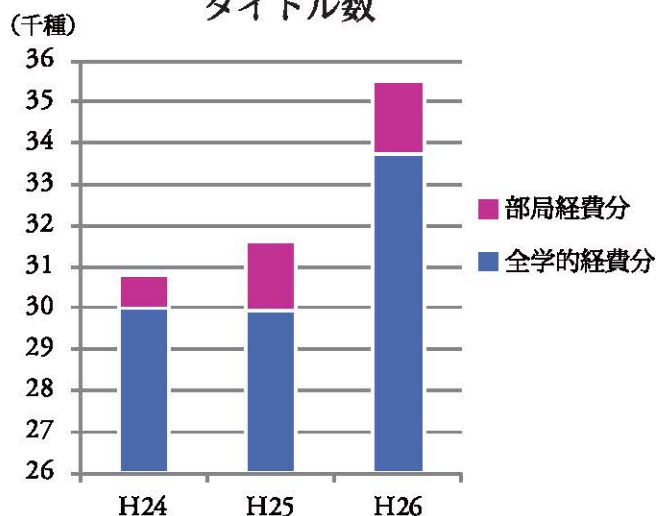
和・洋図書の蔵書数と受入冊数



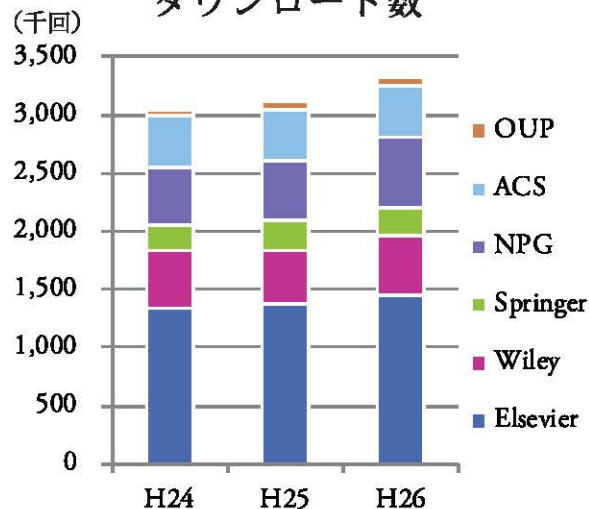
和・洋雑誌の蔵書種数と受入種数



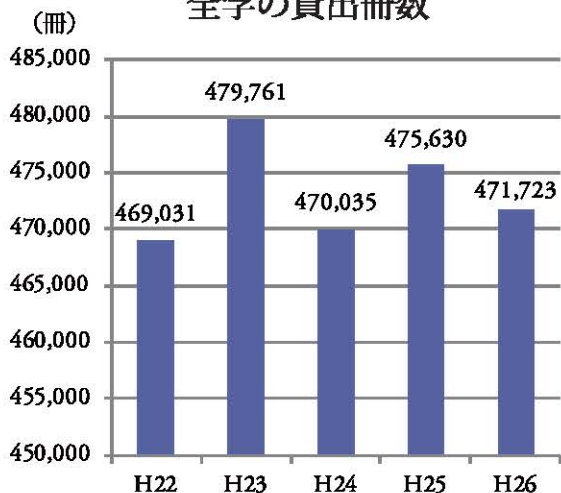
電子ジャーナル（外国雑誌：有料） タイトル数



主要電子ジャーナルの ダウンロード数

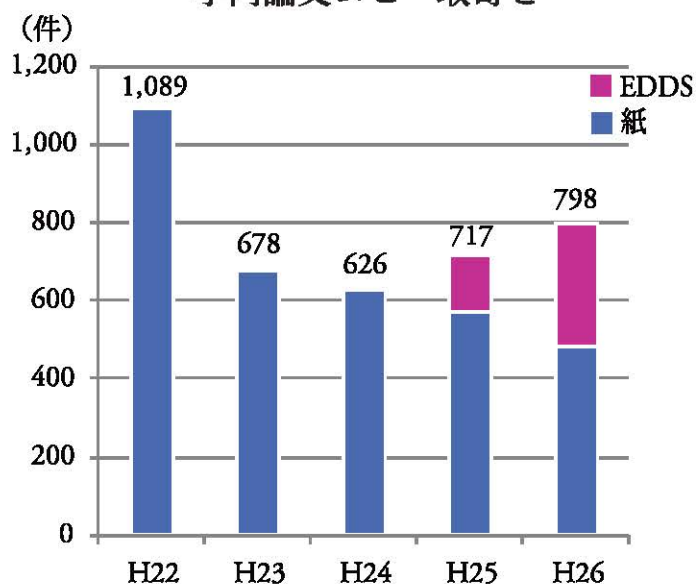


全学の貸出冊数



主な図書館・室の貸出冊数					
	H22	H23	H24	H25	H26
附属図書館	179,677	190,169	172,296	169,777	164,557
吉田南総合図書館	76,582	78,785	87,245	88,413	92,394
文学研究科	74,569	72,600	69,808	71,609	70,621
教育学研究科	10,639	10,119	11,683	12,616	8,472
法学研究科	15,682	16,709	14,264	15,725	16,327
経済学研究科	14,728	16,041	16,152	18,563	17,494
理学研究科	25,335	24,680	26,604	27,408	27,408
医学研究科	9,036	7,823	7,510	7,036	6,939
薬学研究科	1,609	1,468	1,594	1,363	1,291
工学研究科	15,114	13,774	15,194	15,350	16,163
農学研究科	9,817	10,660	14,572	13,336	13,302
合 計	432,788	442,828	436,922	441,196	434,968
全学合計	469,031	479,761	470,035	475,630	471,723

学内論文コピー取寄せ

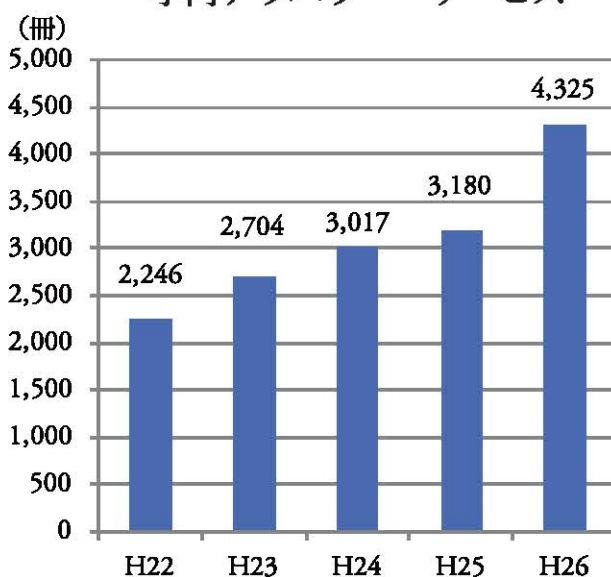


「EDDS(Electronic Document Delivery Service)」とは？

学内の離れたキャンパスにある文献（論文など）を学内の研究室や OSL のパソコンなどで読むことができるサービスです。

注）公費（運営費のみ）で文献複写のお支払いができる方に限ります。

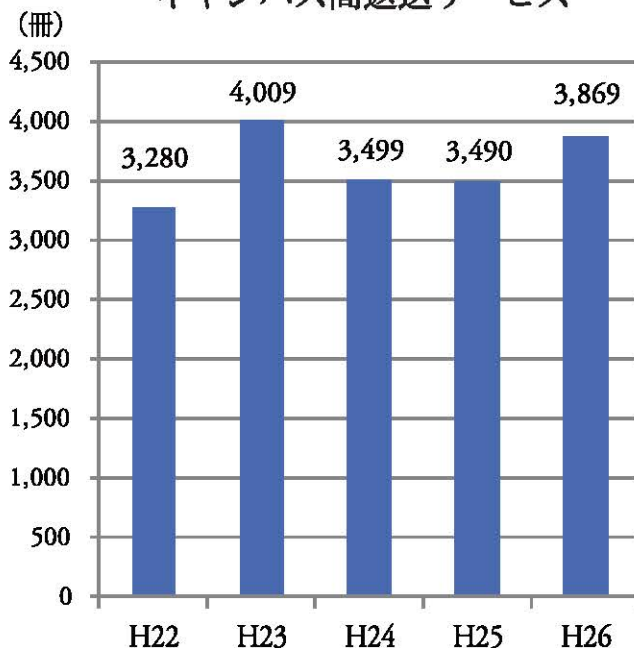
学内デリバリー・サービス



「学内デリバリー・サービス」とは？

希望の図書が学内の遠隔地キャンパスなどに所蔵されている場合、所属部局の図書館・室へ取り寄せることができるサービスです。

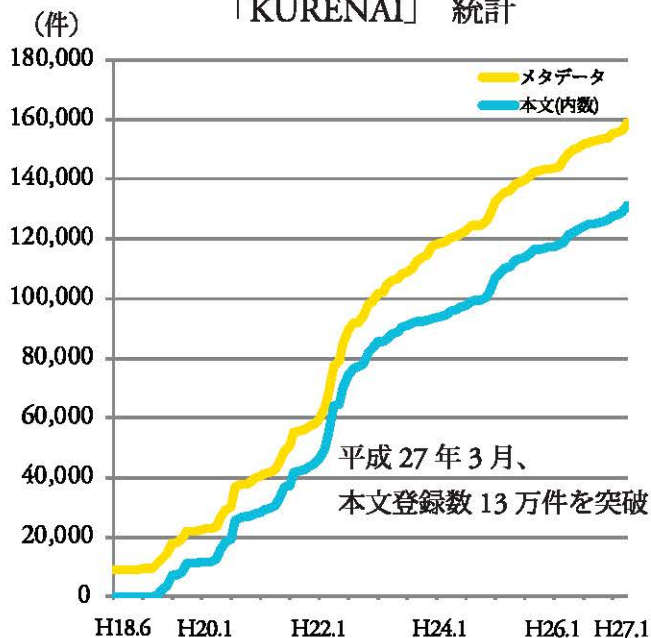
キャンパス間返送サービス



「キャンパス間返送サービス」とは？

学内の別のキャンパスの図書館・室で借りた図書を、最寄りの図書館・室でも返却することができるサービスです。

京都大学学術情報リポジトリ 「KURENAL」 統計



「KURENAL」とは？

京都大学で日々創造される研究・教育成果（学術雑誌掲載論文、学位論文、紀要論文など）を WEB 上で公開しているプラットフォームです。

平成 26 年度統計

図書館・室	受入冊数			蔵書冊数			目録情報入力冊数累計		
	和書	洋書	計	和書	洋書	計	和書	洋書	計
附属図書館	11,525	1,755	13,280	658,372	264,972	923,344	543,375	249,353	792,728
附属図書館宇治分館	332	764	1,096	13,698	57,746	71,444	13,267	55,463	68,730
吉田南総合図書館	6,975	5,430	12,405	369,884	297,078	666,962	362,817	294,853	657,670
文学研究科	10,350	6,227	16,577	681,304	430,964	1,112,268	533,612	421,657	955,269
教育学研究科	5,781	273	6,054	109,107	72,509	181,616	107,861	71,489	179,350
法学研究科	3,567	4,588	8,155	314,100	405,990	720,090	272,406	362,456	634,862
経済学研究科	3,951	2,538	6,489	305,738	268,582	574,320	293,144	276,119	569,263
理学研究科	2,259	5,420	7,679	53,244	200,150	253,394	49,441	192,932	242,373
医学研究科	2,284	999	3,283	75,776	154,408	230,184	94,060	149,756	243,816
医・人間健康科学系	813	60	873	21,536	4,399	25,935			
薬学研究科	147	29	176	11,813	22,336	34,149	11,947	22,294	34,241
工学研究科	2,985	1,030	4,015	139,939	190,019	329,958	135,921	186,914	322,835
農学研究科	1,044	488	1,532	143,321	122,492	265,813	138,166	115,999	254,165
エネルギー科学研究科	50	55	105	4,845	5,480	10,325	4,807	5,511	10,318
アジア・アフリカ地域研究研究科	486	1,301	1,787	15,091	119,017	134,108	14,915	119,572	134,487
情報学研究科	401	265	666	16,993	35,306	52,299	17,585	39,189	56,774
地球環境学堂・学舎	430	230	660	5,677	3,622	9,299	5,574	3,500	9,074
人文科学研究所	5,059	1,335	6,394	514,739	92,046	606,785	282,957	88,403	371,360
再生医科学研究所				390	4,107	4,497	366	4,059	4,425
基礎物理学研究所	51	873	924	9,748	81,485	91,233	8,875	79,866	88,741
経済研究所	124	474	598	40,615	40,711	81,326	40,626	40,708	81,334
数理解析研究所	110	1,912	2,022	7,710	92,486	100,196	7,651	92,009	99,660
原子炉実験所	272	127	399	16,053	37,827	53,880	16,068	37,801	53,869
霊長類研究所	567	115	682	9,039	18,218	27,257	9,047	18,210	27,257
東南アジア研究所	439	2,865	3,304	29,339	160,633	189,972	27,679	147,228	174,907
生態学研究センター	57	238	295	9,235	7,022	16,257	9,234	7,123	16,357
地域研究統合情報センター	1,045	1,719	2,764	6,467	49,737	56,204	11,854	32,142	43,996
フィールド科学教育研究センター (上段：森林系、下段：瀬戸臨海)	109	14	123	12,708	4,328	17,036	9,019	7,951	16,970
	86	999	1,085	886	4,727	5,613			
計	61,299	42,123	103,422	3,597,367	3,248,397	6,845,764	3,022,274	3,122,557	6,144,831
目録情報入力冊数割合							84.0%	96.1%	89.8%

(注) 附属図書館宇治分館は、化学研究所・エネルギー理工学研究所・生存圏研究所・防災研究所の蔵書数等を含めた数。

図書館・室	受入雑誌種数			開館日数	入館者数	貸出総数	相互利用			
	総計	うち購入 和雑誌種数	うち購入 外国雑誌種数				現物借用	複写取寄せ	現物貸出	複写提供
附属図書館	1,725	307	421	335	956,613	164,557	790	1,343	894	3,354
附属図書館宇治分館	290	64	122	240	14,794	2,597	19	84	11	672
吉田南総合図書館	917	258	164	265	231,500	92,394	579	1,250	592	362
文学研究科	3,959	202	812	224		70,621	92	162	467	1,138
教育学研究科	678	98	77	233	15,768	8,472	29	28	51	430
法学研究科	1,126	185	504	267		16,327	42	53		
経済学研究科	1,058	105	188	263	54,137	17,494	7	7		
理学研究科	1,428	113	322	236	70,328	27,408	59	162	228	215
医学研究科	701	63	99	288	61,207	6,939	43	1,567	22	3,443
医・人間健康科学系	191	34	23	221		8,643				
薬学研究科	31	10	0	239	15,325	1,291	0	38	0	59
工学研究科	1,367	360	191	232	29,569	16,163	70	196	1	236
農学研究科	1,758	527	134	237	71,669	13,302	86	225	180	496
エネルギー科学研究科	66	19	12	240	1,663	273	8	20	0	0
アジア・アフリカ地域研究研究科	239	9	41	228	1,350	2,825	245	62	22	9
情報学研究科	100	54	38	231	9,214	6,258	7	16	0	8
地球環境学堂・学舎	38	33	5	234	2,461	1,159	27	43	63	9
人文科学研究所	1,493	111	328	210	5,033	5,032	137	112	0	581
再生医科学研究所	10	0	10	240						
基礎物理学研究所	60	12	28	240	1,287	2,013	0	1	8	45
経済研究所	656	113	274	224	6,310	760	0	1	7	87
数理解析研究所	475	22	308	233		2,051	5	3	8	79
原子炉実験所	128	29	18	238	1,450	484	69	54	39	102
霊長類研究所	147	4	5	240		347	4	14	0	63
東南アジア研究所	607	18	247	234	2,722	3,411	27	10	113	16
生態学研究センター		3	10	220		204	4	19	5	
地域研究統合情報センター	1,406	0	0	210	680	282	17	5	23	8
フィールド科学教育研究センター	168	43	1	163	300	416				
(上段：森林系、下段：瀬戸内海)	226	3	6	230			9	7	2	66
計					1,553,380	471,723	2,375	5,482	2,736	11,478

目録情報入力された資料は KULINE で検索することができます。

空値はサービスを行っていない等の理由によります。

附属図書館の入館者数は、平成 25 年度から学習室 24 の入室者数を含めています。



図書館・室からのお知らせ

■「京都大学オープンアクセス方針」が採択されました

京都大学が2015年4月28日に採択したこの方針は、京都大学の教員による学術論文等の研究成果について、「京都大学学術情報リポジトリ KURENAI」により、学内外から自由に閲覧できるようにすることを定めたものです。



<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=1677>

■図書館機構アンケートを実施しました

図書館機構では、京都大学に所属する皆さまの声を図書館のサービスに活かすことを目的に、2015年6月15日から7月31日にかけて、全学アンケートを実施し、多数の回答をいただきました。アンケートの結果は追ってご報告します。



<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/survey/index.html>

■電子ジャーナルやデータベースを使う前に

情報環境機構の新しい無線 LAN サービス KUINS-Air から、図書館機構が提供する電子ジャーナルやデータベースを利用するための設定手順は次をご覧ください。



<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=1673>

なお、電子ジャーナルの「過剰アクセス」によるアクセス遮断事例などを次にまとめています。適切な利用にご留意の上、学習・研究に有効にご活用ください。



<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=1719>

■吉田南総合図書館で脱出ゲーム「KULINE のつぼ」が開催されました

図書館の中で謎解きを楽しみながら、京都大学蔵書検索システム KULINE の利用方法をマスターするゲーム企画が、2015年6月8日から17日にかけて行われました。94名の挑戦者があり、うち19名がすべての謎を解き脱出に成功されました。参加者からは「楽しかった」「難しかった」という声が多数寄せられました。



<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=1687>

■フィールド森林系図書室の利用方法が変更になりました

2015年4月1日から、事前に利用申込の上、後日農学部図書室で資料を利用する方式となりました。利用申込方法は以下の URL よりご確認ください。



<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=1654>

京都大学図書館機構報「静脩」(ISSN 0582-4478)

Vol. 52 No. 2 (通巻 186 号) 2015 年 07 月 31 日発行
編集:「静脩」編集小委員会(責任者:附属図書館事務部長)
発行:京都大学図書館機構

京都府京都市左京区吉田本町 36-1

TEL 075-753-2613

URL <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

表紙題字:附属図書館所蔵 西園寺公望公揮毫

今月の表紙

附属図書館のメディア・コモンズの風景です。リニューアルを経て、さらに利用しやすいスペースになりました。

語学学習の際には、学内の施設・資料もぜひ活用していただければと思います。

